

## 2014年教員の皆さまへの夏季研修会 アンケート結果(抜粋)

### ①幼稚園・保育園

- ・目先の学習のことばかり考えていたが、就労や自立を早い時期から考える大切さが良く分かった (複数回答)
- ・教育関係者でなく、企業出身の話聞くのは初めてで大変参考になった(複数回答)
- ・障がいの有無に関係なく、必要なことが分かった (複数回答)
- ・学習よりも、社会性を身に付ける大切さが分かりました (複数回答)
- ・子どもたちが親や教師が考えているよりも能力を持っていることが心に響いた
- ・園での活動を通じて「人の役にたつ」「人から必要とされる」経験をさせてあげたい (複数回答)
- ・「自分で考え、自分で決めさせる」事が将来の自立につながる事が分かった
- ・障がいの有無に関わらず、あいさつの大切を感じた
- ・子どもを信じて、仕事を任せ成功体験をさせてあげたい
- ・やらせていないから出来ないを聞いて、日々の保育を見直すきっかけになりました

### ②小学校

- ・チャレンジする大切さが分かりました。
- ・今関わっている子ども達が将来社会に出ることの大切さを学びました (複数回答)
- ・機会があれば、また聞きたいです (複数回答)
- ・本人にとって本当の幸福を考えながら、今後の指導をしていきたいと思います
- ・企業サイドの話が聞いてとても参考になりました
- ・子ども達の可能性は無限で、大人が決めてはいけない事が分かりました
- ・小さい時から「働ける大人」に育てる事が大切だとわかった
- ・子どもが支援学校に行っているので、親と教師の両方の立場から話を聞いて、小さい時からのキャリア教育の大切さを学びました
- ・放課後ディなどの充実が、家庭での躾や訓練の時間を減らしている現状もある
- ・今日聞いたことを、今後の指導にどう活かすか考えていきたい
- ・保護者にも聞いて欲しかったです (複数回答)
- ・企業出身者の話は、広い視野で就労を考えていて大変勉強になった (複数回答)
- ・今後もいろいろな話を聞いてみたい
- ・広い視野で指導するきっかけが出来た
- ・よく分かり、考えるきっかけとなりました

- ・障がいを持つ人が、もっと活躍したり、やりがいを持って生活していく取り組みが必要があると思った
- ・障がい者雇用の現状が勉強になった
- ・将来就労体験に必要なことを今から見付けてやりたいと思います
- ・将来の就労につながる学習を考えて指導にあたりたい
- ・就労ということを見すえて子どもの指導計画をたてる重要性がわかった
- ・学校のみならず、多くの機関との連携が必要性的を感じました

### ③中学校

- ・両方向から見るということが、自然と出来ている内容でよかったです
- ・奈良の就労支援の現状は遅れていると感じた
- ・もっと積極的に指導に当たろうと思った。(保護者に向けての啓発も含めて)
- ・また、聞いて見たい (複数回答)
- ・知らなかったことが多く、参考になった
- ・高校の選択だけでなく、将来を見せる事が本当に大切だと思いました
- ・早め早めの取り組みをして、自立の為の支援を続けていきたい
- ・「人の役に立つ」「人から必要とされる」という活動を支援学級の生徒たちにも取り入れて見ようと思う
- ・生徒の進路については悩みも多く、保護者との話でも課題となっています。今日の話で自分自身も気づかせてもらった。
- ・保護者にも伝えたい。保護者向けにもやって下さい (複数回答)
- ・ずっと知りたかった内容で大変参考になった
- ・サポート 21・ならの取り組みは素晴らしいと思った
- ・学校教育では一貫教育が必要だという事が、確信を持ってました
- ・今まで、ひとつの学校に3つの学校がある感じでしたが、つなげていかないと、いけないと思いました
- ・障がいのある子ども達にとって、小学部の頃から始める体験の重要性を感じました
- ・学校・企業・地域の協力が今後必要だと痛感しました

### ④高等部

- ・これまで進路の教材や資料により理解していたことが、つながりより一層理解することが出来た
- ・保護者の本人に話したい資料がたくさんありました
- ・子どもが就労に向けて「本人・家庭・学校」が何を考え、何を目指していく事が大事なのか、良く分かりました
- ・「パンとクッキー」についての考え方は強く共鳴できました。企業人ならではの言葉

だと思えます。

- ・それぞれの生徒が社会に出て行くにあたって、どの様な力をつけていけば良いのかを改めて考えるきっかけになりました
- ・自分たちにも、生徒にも変える事が出来ない難しい問題を奈良県が抱えている事を知って、胸が痛くなりました
- ・高1の担当ですが、卒業までに出来ることを考えて行きたい。
- ・小・中学部では、就労のイメージは持ちにくいかと思った。
- ・保護者や本人が自ら就労に取り組むように指導したい。
- ・雇用した側・支援した側の両方を経験された話は、良い刺激になりました。
- ・「ひとつ上を目指す」大切さが分かりました。
- ・あいさつなどの基本的な事の大切さを改めて感じた。
- ・生徒はもっといろいろな事が出来ると感じた。(複数回答)
- ・分かりやすい話し方でとても勉強になった。(複数回答)
- ・この様な企画をしてくれた、進路担当の先生に感謝です。(こんな人を呼べるなんて!)

### ③その他

- ・小さい時からのキャリア教育の充実が、将来の職業観につながる事を改めて感じた
- ・今回の様な内容の研修は初めてだった
- ・真の自立について、「親の過干渉」と言うことばにはっとさせられた
- ・ふれジョブで、成功体験をし、自分が必要な存在だと認めてもらう事は大事な機会だと感じた

以上